

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東大

上場会社名 ローランド株式会社
 コード番号 7944 URL <http://www.roland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 英一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 西澤 一郎

TEL 053-523-3652

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	55,369	△4.6	510	△71.7	△38	—	268	—
23年3月期第3四半期	58,020	6.7	1,802	—	572	—	△828	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △839百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △3,297百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.27	—
23年3月期第3四半期	△34.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	75,818	62,209	61.1	1,946.29
23年3月期	79,121	64,129	60.2	2,001.90

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 46,297百万円 23年3月期 47,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,300	△1.2	1,400	△38.3	700	△23.0	200	—	8.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	25,572,404 株	23年3月期	25,572,404 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,785,029 株	23年3月期	1,784,485 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	23,787,827 株	23年3月期3Q	23,788,364 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・決算補足説明資料は平成24年2月8日(水)に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	5
2. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(4) セグメント情報等.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結経営成績

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第3四半期累計	平成24年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
売上高	58,020	55,369	△2,650	△4.6%
電子楽器事業	33,869	31,227	△2,641	△7.8%
コンピュータ周辺機器事業	24,150	24,141	△9	△0.0%
営業利益又は営業損失(△)	1,802	510	△1,291	△71.7%
電子楽器事業	△369	△756	△387	—
コンピュータ周辺機器事業	2,171	1,267	△904	△41.6%
経常利益又は経常損失(△)	572	△38	△611	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△828	268	+1,097	—

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第3四半期累計	平成24年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
電子楽器	12,981	11,586	△1,394	△10.7%
ギター関連電子楽器	6,668	6,382	△286	△4.3%
家庭用電子楽器	7,849	7,752	△97	△1.2%
映像・音響及び コンピュータ・ミュージック機器	4,374	3,871	△502	△11.5%
その他	1,994	1,634	△360	△18.1%
電子楽器事業	33,869	31,227	△2,641	△7.8%
コンピュータ周辺機器事業	24,150	24,141	△9	△0.0%
合計	58,020	55,369	△2,650	△4.6%

販売地域別売上高

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第3四半期累計	平成24年3月期 第3四半期累計	増減額	増減率
日本	7,546	6,829	△717	△9.5%
北米	9,885	8,686	△1,198	△12.1%
欧州	11,370	10,360	△1,009	△8.9%
その他	5,066	5,351	+284	+5.6%
電子楽器事業	33,869	31,227	△2,641	△7.8%
日本	2,731	2,865	+134	+4.9%
北米	5,767	5,708	△59	△1.0%
欧州	8,072	7,989	△83	△1.0%
その他	7,579	7,578	△0	△0.0%
コンピュータ周辺機器事業	24,150	24,141	△9	△0.0%
合計	58,020	55,369	△2,650	△4.6%

(注) 前連結会計年度において持分法非適用非連結子会社であったRoland (Shanghai) Logistics Co., Ltd. 及びRoland DG Australia Pty. Ltd. は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、日本国内では東日本大震災の影響による経済活動の一時的な停滞からは脱したものの、長期化する円高による景気下振れが懸念される状況が継続しました。また、北米では雇用環境に改善が見られず、欧州ではユーロ圏での財政・金融不安が深刻化する等、先進国全般において先行き不透明な状況で推移しました。一方、中国とブラジルを中心とする新興国では、景気拡大の速度が緩やかになるものの、持続的な経済成長が見られました。

このような経済環境において電子楽器事業では、付加価値の高い新製品を多数、市場に投入するとともに、コンテストや製品イベント等により幅広い顧客層に直接訴求することで、新規需要の喚起に取組みました。また、グローバルでのショップ・イン・ショップ展開の推進や、教育分野への用途提案等、販売・流通網の拡充にも引き続き注力しました。

製品別では、ギター関連電子楽器と家庭用電子楽器では新製品が好調に推移し、シンセサイザーや電子ドラム等の電子楽器は、高価格帯を中心に販売が低調に推移しました。また映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器においては、業務用映像機器が好調の一方、その他の商品群で販売が伸び悩みました。

地域別では、中国、ブラジル、ロシア等の新興市場において着実な成長が見られましたが、日本、北米、欧州の主要市場においては、個人消費の低迷が継続し、販売が減少しました。

結果、円高の影響も加わり、売上高は312億27百万円（前年同期比7.8%減）となり、利益面では、コスト削減の推進とともに、震災影響の解消により第3四半期において稼働率が改善し、第2四半期までの赤字幅は縮小したものの、7億56百万円の営業損失（前年同期は営業損失3億69百万円）となりました。

コンピュータ周辺機器事業においては、当期より「事業の軸を増やす」、「コスト競争力の強化」、「マーケットマネジメントの強化」を重点施策として、将来にわたる経営基盤の構築に取組み始めました。また、中長期的な経済成長が見込まれるアジア市場への対応を図るため、現地の需要に適した製品を企画、生産する拠点としてタイに子会社を設立し、工場建設に向け準備を始めました。

製品別では、プリンターで新製品の販売が好調に推移しましたが、既存の主力製品の販売が伸び悩み、全体として前年同期を下回りました。一方、工作機器は、前期にデンタル市場に投入した製品が販売に貢献し、全体でも前年同期を大きく上回りました。

地域別では、日本において、第2四半期以降は新製品を中心としたアプリケーション提案等が売上拡大に結び付き、前年同期を上回りました。また、北米や欧州においても新製品を中心に販売が堅調に推移しました。一方、アジアでは、第2四半期以降、販売回復に向かったものの、第1四半期に現地在庫を考慮し中国向けの出荷を抑制したことが影響し、前年同期を下回りました。

結果、売上高は241億41百万円で前年同期とほぼ同額、利益面では、円高による原価率悪化に加え、販売費及び一般管理費が増加したこともあり、営業利益12億67百万円（前年同期比41.6%減）となりました。

以上の結果、全体の売上高は553億69百万円（前年同期比4.6%減）、5億10百万円の営業利益（前年同期比71.7%減）、38百万円の経常損失（前年同期は経常利益5億72百万円）、四半期純利益は、連結子会社のローランド エスジー㈱を吸収合併したこと等に伴う繰延税金資産の計上等により2億68百万円（前年同期は四半期純損失8億28百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における平均為替レート(※)は、81円/米ドル（前年同期90円）、113円/ユーロ（同118円）でした。

(※)海外連結子会社の事業年度は1月～12月のため、平成23年1月～平成23年9月の平均となります。

セグメント毎の販売状況は、次の通りです。

【電子楽器事業】

[電子楽器]

シンセサイザーは、高い演奏性と豊かな表現力を実現したフラッグシップ・モデルの新製品が販売に貢献したものの、日本、北米、欧州の主要市場で高機能タイプを中心とした既存製品が低調に推移したことで前年同期を大きく下回りました。電子ドラムは、北米で普及価格帯の新製品を中心に販売が堅調に推移し、中国でも市場成長が見られたものの、日本、欧州、その他アジア諸国での販売低調の影響が大きく、前年同期を下回りました。楽器用アンプは、ギター用アンプの新製品が販売好調であったものの、全体としては前年同期並みで推移しました。結果、電子楽器の売上高は、115億86百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

[ギター関連電子楽器]

ギター用エフェクターは、中南米とアジアで販売が好調であったものの、欧州を中心とした主要市場で低調に推移したため、全体としては前年同期並みとなりました。また、ギター・シンセサイザーは新製品の好調な販売により前年同期を大きく上回った一方、ギター用マルチトラック・レコーダーでは既存製品が低調に推移したために前年同期を下回りました。結果、ギター関連電子楽器の売上高は、63億82百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

[家庭用電子楽器]

電子ピアノは、中南米とアジアで販売が伸長したことに加え、個人消費低迷が懸念される中、ショップ・イン・ショップ展開により販売を底堅く維持しましたが、欧州での販売低調もあり全体として前年同期を下回りました。一方、電子アコーディオンや自動伴奏機能付き音源の海外向け新製品が、欧州を中心に好調に推移しました。結果、家庭用電子楽器の売上高は、77億52百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

[映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器]

業務用分野では、日本と欧州において企業の設備投資が減少したことを背景に、音響機器で販売が伸びたものの、映像機器では幅広い用途で需要が見込まれるライブ動画配信用AVミキサーとビデオ・ミキサーの新製品が貢献したことにより前年同期を上回りました。一方で、コンピュータ・ミュージック機器では、日本と欧州で販売が低調に推移し、特にポータブル・レコーダーの販売減少が全体に大きく影響しました。結果、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器の売上高は、38億71百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

[その他]

日本国内における通信カラオケ機器用音源の販売と音楽教室の売上が減少しました。音楽教室については、販売店様との提携強化による教室拡充を目指しており、その一環として販売店様に当社教室運営の一部を移管したことによります。結果、その他の売上高は、16億34百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

【コンピュータ周辺機器事業】

プリンターは、UVプリンターの新製品が販売好調であったことに加え、従来の低溶剤インクジェットプリンターに投入した、メタリックシルバーインクを搭載したコンパクトサイズの新製品が市場より高い評価を受け、好調に推移しました。また、アジアのサイン・ディスプレイ市場での需要獲得を目指し、中国と韓国市場向けに水性インクジェットプリンターの新製品も投入しました。しかし、全体としては、欧州での設備投資が慎重になったことやアジアでの成長が緩やかになったことにより、主力製品の販売が減少し、前年同期を下回りました。

工作機器は、彫刻機の販売が堅調に推移したことに加え、デンタル市場向けの切削機が販売に貢献しました。またホビー市場向けの小型切削加工機の新製品を投入し、新たな市場開拓の取組みを進めました。

サプライ品は、海外での需要増加や、様々な形状に加工されるパッケージへの印刷を可能とする、高い伸縮性を有するUV硬化インクが好調に推移する等、インクを中心に売上を伸ばしました。

結果、コンピュータ周辺機器事業の売上高は、241億41百万円で前年同期とほぼ同額となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末と比較して 33 億 2 百万円減少し、758 億 18 百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が 37 億 95 百万円減少し、また在外関係会社の前会計年度末である平成 22 年 12 月末から第 3 四半期会計期間末である平成 23 年 9 月末にかけての主要国通貨に対する円高進行を受けた在外関係会社の財務諸表の円換算額が減少した一方、繰延税金資産等を含む投資その他の資産のその他が 15 億 1 百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して 13 億 82 百万円減少し、136 億 8 百万円となりました。その主な要因は、法人税等や賞与の支払いにより、未払法人税等が 7 億 79 百万円、賞与引当金が 6 億 37 百万円それぞれ減少し、また未払費用等を含む流動負債のその他が 8 億 91 百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が 9 億 88 百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して 19 億 19 百万円減少し、622 億 9 百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益が 2 億 68 百万円あった一方、剰余金の配当が 5 億 35 百万円あり、また上述の円高進行により為替換算調整勘定が 10 億 64 百万円減少したことに加え、少数株主持分が 5 億 96 百万円減少したことによるものです。

自己資本比率は、主に上述の総資産、純資産それぞれの減少を受け、前連結会計年度末と比較して 0.9 ポイント上昇し、61.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の通期連結業績については、平成 23 年 12 月 22 日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,586,781	15,791,458
受取手形及び売掛金	9,502,158	9,301,411
商品及び製品	15,242,183	15,380,114
仕掛品	553,285	607,381
原材料及び貯蔵品	4,158,458	4,126,736
その他	5,223,392	4,407,858
貸倒引当金	△406,993	△386,247
流動資産合計	53,859,266	49,228,713
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,767,329	21,605,200
機械装置及び運搬具	3,388,322	3,399,216
工具、器具及び備品	10,742,474	11,067,214
土地	8,372,349	8,286,253
建設仮勘定	99,636	65,838
減価償却累計額	△25,358,193	△26,025,796
有形固定資産合計	19,011,919	18,397,927
無形固定資産		
のれん	90,288	455,336
ソフトウェア	1,003,287	786,041
ソフトウェア仮勘定	74,473	165,776
その他	82,090	84,181
無形固定資産合計	1,250,139	1,491,335
投資その他の資産		
投資有価証券	1,809,280	1,997,591
その他	3,270,930	4,772,832
貸倒引当金	△80,455	△69,466
投資その他の資産合計	4,999,756	6,700,957
固定資産合計	25,261,816	26,590,220
資産合計	79,121,082	75,818,934

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,972,272	4,960,878
短期借入金	770,458	764,175
1年内返済予定の長期借入金	3,923	3,956
未払法人税等	855,255	75,554
賞与引当金	1,245,956	608,620
役員賞与引当金	—	30,000
製品保証引当金	461,508	394,926
その他	4,928,704	4,037,625
流動負債合計	12,238,080	10,875,737
固定負債		
長期借入金	264,208	260,985
繰延税金負債	23,846	22,684
再評価に係る繰延税金負債	187,289	164,155
退職給付引当金	329,092	435,961
その他	1,948,661	1,849,471
固定負債合計	2,753,099	2,733,257
負債合計	14,991,179	13,608,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,274,272	9,274,272
資本剰余金	10,801,182	10,801,175
利益剰余金	36,207,360	35,992,151
自己株式	△1,767,961	△1,768,312
株主資本合計	54,514,854	54,299,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,929	△108,378
土地再評価差額金	△1,498,983	△1,475,849
為替換算調整勘定	△5,353,845	△6,417,917
その他の包括利益累計額合計	△6,893,758	△8,002,144
少数株主持分	16,508,807	15,912,797
純資産合計	64,129,902	62,209,939
負債純資産合計	79,121,082	75,818,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	58,020,164	55,369,289
売上原価	34,479,100	33,447,912
売上総利益	23,541,063	21,921,377
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	2,440,930	2,456,655
貸倒引当金繰入額	168,838	24,650
給料及び賞与	10,494,579	10,480,678
賞与引当金繰入額	276,821	273,485
役員賞与引当金繰入額	30,000	30,000
製品保証引当金繰入額	114,012	152,753
その他	8,213,192	7,992,312
販売費及び一般管理費合計	21,738,375	21,410,536
営業利益	1,802,688	510,841
営業外収益		
受取利息	86,255	76,355
受取配当金	79,713	50,750
その他	252,004	162,891
営業外収益合計	417,974	289,997
営業外費用		
支払利息	37,259	41,204
売上割引	474,223	454,379
為替差損	1,061,914	275,094
その他	74,542	68,493
営業外費用合計	1,647,939	839,172
経常利益又は経常損失(△)	572,722	△38,332
特別利益		
固定資産売却益	16,054	9,352
投資有価証券売却益	3,575	—
特別利益合計	19,629	9,352
特別損失		
固定資産除売却損	53,105	16,871
投資有価証券売却損	4,055	—
投資有価証券評価損	8,177	13,260
事業譲渡損	94,452	—
労働災害補償金	—	73,000
特別退職金	—	201,582
特別損失合計	159,791	304,714
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	432,560	△333,694
法人税、住民税及び事業税	788,908	375,829
法人税等調整額	148,173	△1,143,638
法人税等合計	937,082	△767,808
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△504,521	434,113
少数株主利益	324,428	165,921
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△828,950	268,192

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△504,521	434,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△210,265	△68,898
土地再評価差額金	—	23,134
為替換算調整勘定	△2,582,437	△1,228,243
その他の包括利益合計	△2,792,703	△1,274,008
四半期包括利益	△3,297,224	△839,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,769,801	△840,193
少数株主に係る四半期包括利益	△527,423	299

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	33,869	24,150	58,020
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	33,869	24,150	58,020
セグメント利益又は損失(△)	△369	2,171	1,802

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

(単位：百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	31,227	24,141	55,369
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	31,227	24,141	55,369
セグメント利益又は損失(△)	△756	1,267	510

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。